

第27回京都眼科フォーラムのご案内

(生涯教育認定事業 No. 04504)

近年における硝子体手術の進歩には、目を見張るものがあります。黄斑浮腫に黄斑分離、ぶどう膜炎に網膜静脈閉塞、、、その適応はどんどん拡大傾向にあり、内境界膜剥離に視神経鞘切開、トリウムシノロンにICG、、、ソフト面にもいろいろな新しい工夫が次々と登場します。さらに、ハード面でも25Gシステム、23Gシステムといった小切開、低侵襲の経結膜硝子体手術システムの開発がなされ、俄然脚光を浴びています。今回の冬の眼科フォーラムは、「これからの硝子体手術」をテーマに、硝子体手術のボリュームサーजनに、20G、25G、23Gそれぞれのシステムでの硝子体手術の経験を紹介していただき、今後の展望に迫りたいと思います。25Gシステムは本流になれる？23Gはいいとこどりか、それとも？はたして20Gシステムの行く末やいかに？硝子体手術をされる方もされない方も、このフォーラム、絶対に目が離せません。

記

日時：平成18年2月4日(土) 午後2時20分～5時50分
場所：ウェスティン都ホテル京都 3Fコスモスホール
〒605-0052 京都市東山区三条けあげ
TEL: 075-771-7111
会費：2,000円

2:20～2:30 「最新医学情報」

テーマ『これからの硝子体手術』

座長 京都府立医科大学 助教授 横井 則彦 先生

2:30～3:30 『「これからの硝子体手術」－20Gシステム硝子体手術』

京都大学大学院医学研究科眼科学 助教授 喜多 美穂里 先生

3:30～4:30 『これからの硝子体手術・25ゲージ硝子体手術のすべて』

横浜市大附属市民総合医療センター 準教授 門之園 一明 先生

座長 京都大学

教授 吉村 長久 先生

4:50～5:50 『23ゲージ硝子体手術はベストの選択か?』

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科眼科・視覚科学教室

教授 北岡 隆 先生

閉会の辞

京都府眼科医会

会長 浅山 邦夫 先生

チャイルドケア・サービス

- ・無料、場所は会場近く(蘭の間)です。対象は小学生高学年まで。
 - ・お申し込み、お問い合わせは、1月27日までに外園千恵までお願い致します。
- 折り返しご案内致します。連絡先：京都府立医科大学眼科(075)251-5578

共 催

関西眼疾患研究会

京都府眼科医会

参天製薬株式会社

世話人

木下 茂 (京都府立医科大学)

吉村 長久 (京都大学)

初田 高明 (ハプテスト眼科クリニック)

小玉 裕司 (京都府眼科医会)

横井 則彦 (京都府立医科大学)

喜多美穂里 (京都大学)